

【未来予測ワークショップとは】

新しいビジネスを創出するためには、将来の社会像・世界観を形作る大きな流れ「未来潮流」を理解することが第一歩となります。本ワークショップでは、視点を持って、未来情報を解釈・分析し、未来潮流を読みとくための技術を習得します。

「ビジネス創出技術」の重要なエッセンスを実際に参加者の皆様に手を動かしてワークして頂きながら、マスターして頂ける内容となっています。

【未来予測分析をする上での問題】

- ▶ 日々のニュースなど情報が分散されており、断片的でまとまったものがない。
- ▶ 自社のテーマにマッチするような都合のよい情報源がない。
- ▶ 情報源があっても、分析の視点がなく、すぐには使えない。
- ▶ 情報の分析があったとしても、著者の思考に偏っており、自社に活かしにくい。
- ▶ 資料の値段が高く手を出しにくい。
- ▶ 自社で分析しようにも、どのような観点で分析したらいいかわからない。
- ▶ 分析結果から、自社のビジネスにどう役立てていいかわからない。

【未来予測情報分析手法】

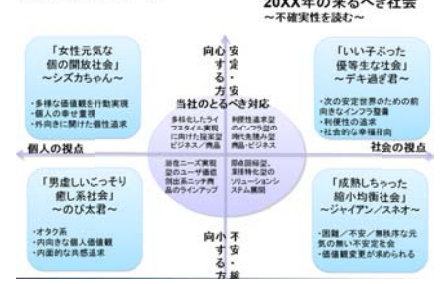
無料の情報源を独自の分析法で解釈することで、未来潮流を読むことができます
※未来予測カレンダー + 世代変遷表 + 顧客予測マップ

未来予測カレンダー

	2014	2020	2025	2030	2040	2045	2050	2055	2060	2061
世界経済	世界経済の成長率(%)の推移(推定)									
インド	インドのGDP(1000億ドル)の推移(推定)									
ペトナム	ペトナムのGDP(1000億ドル)の推移(推定)									
その他アジア	その他アジアのGDP(1000億ドル)の推移(推定)									
中国	中国のGDP(1000億ドル)の推移(推定)									
国内産業	国内産業の成長率(%)の推移(推定)									
海外産業	海外産業の成長率(%)の推移(推定)									

種別	第1世代	第2世代	第3世代
マーケティング	目的: 売上拡大	目的: シェア拡大	目的: ファン増加
イノベーション	イノベーション: 製品開発	イノベーション: 技術革新	イノベーション: 社会課題
デジタル化	デジタル化: 効率化	デジタル化: 自動化	デジタル化: 高度化
人材育成	人材育成: 基礎教育	人材育成: 専門教育	人材育成: 生涯学習
社会課題	社会課題: 貧困	社会課題: 環境	社会課題: 高齢化

顧客予測マップイメージ



◆特長

- ・知識ではなく、ビジネスを創出するための技術・考え方が学べます
- ・単なる座学ではなく、自社に関連する経営環境の動向をまとめることができます

◆こんな方におすすめ

- ・経営企画、商品開発、マーケティング、新規事業など企画系部門の方
- ・会社を取り巻く経営環境を分析する手法を学びたい管理職の方
- ・ビジネスや商品のアイデアを、企画化・計画化したい方